

国語科

1 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにします。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養います。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養います。

2 学習内容

裏面参照 ※計画や内容の変更の可能性があります。

3 評価の方法

観 点	内 容	主な評価対象
知識・技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	・ 言葉、漢字 等
	情報の扱い方に関する事項	・ 情報に関わる内容 等
	我が国の言語文化に関する事項	・ 古典、書写、読書 等
思考・判断 表現	話すこと・聞くこと	・ 分かりやすい話し方やその技法 ・ 内容を理解する聞き方や技法 等
	書くこと	・ 作文 等 (リライト、条件作文、短文、感想文等)
	読むこと	・ 構成や展開に即した内容の理解 ・ 描写や表現技法の理解 等
主体的に取り組む態度		・ 粘り強く取り組む姿勢 ・ 計画を立て取り組むこと 等

- (1) 3つの観点で評価（A・B・C）をつけます。（規）基準は授業で説明します。
- (2) 評定（5・4・3・2・1）は、評価の結果により決まります。（例：3つの観点すべて「A」ならば「5」、すべて「B」ならば「3」等）ただし、学習する内容や時期等によって、評価の比重が異なる（観点や内容の比重が異なる）ため、例と異なる場合があります。
- (3) 主な評価対象は代表的な例です。授業でその都度説明します。